

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

日本地下水開発株式会社

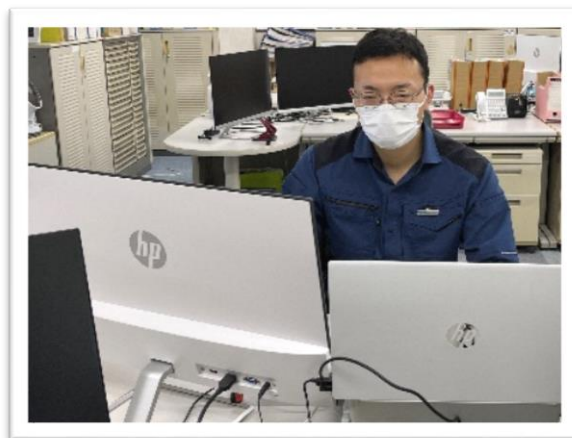
山形市にある日本地下水開発株式会社の若手社員、菅野亜寿真さん取材しました！
菅野さんは、山形大学地域教育文化学部を卒業した後、2018年に入社しました。
現在は、技術本部設計部で勤務しています。
また、総務本部総務部の鈴木英生さんにも同席していただきました。

(1) 仕事内容編

——現在、どのようなお仕事をしていますか。

融雪施設の設計業務を担当しています。

融雪施設とは、路面の雪を融かすことで冬期の
道路交通を確保するための施設です。



——ということは、やはり冬が忙しいのでしょうか。

そうですね。融雪施設の工事や維持管理は冬に集中しますので会社全体で言えば冬が繁忙期になります。

——出張も一年間を通してあるのでしょうか。

他県の営業所や顧客まで打ち合わせに行ったり、実際に現場を見に行ったりすることも必要なので、結構遠方に出張する機会は多いです。行先は主に東北地方や中部地方の雪の降る地域です。ベテランとかの方であれば一人で出張することもあります。若手の時であれば、まず上に誰かつくような感じで出張するという感じです。

——仕事をしている上で意識していることや、大事にしようと思っていることはありますか。



仕事において、基本的な考え方では対処できないような例外的な課題がある場合が多いのですが、その課題に対して、まず自分なりの解決策を考えること。過去の似たような事例から推察するなり、自分の経験から考えたりするなりして自分自身でまず答えを用意する。そのうえで、議論を進めることが大事なのかなと思います。

——学生時代の出来事が今のお仕事に生きている部分はありますか。

そうですね……私の場合、ワンダーフォーゲル部という山に登る部活をしていたのですが、実際に山に登るまでの準備と段取りって、しっかりとやらなければいけないことなんです。その過程で身に着けた能力は今の仕事にも大きく役に立っているかなと思っています。

——仕事をしていて楽しいことや、仕事のやりがいとはどんなことでしょうか。

融雪施設を計画する際、計画地によって各種の条件がそれぞれ異なります。例えば、雪の降る量や、地形、熱源として地下水を使えるのか使えないかなどです。そこで、条件を整理して、最適な融雪施設計画を作るという作業が、パズルとか謎解きみたいな面白さがあるのかなと思います(笑)。



(2) 職場編

——日本地下水開発に就職を決めたきっかけは何ですか。

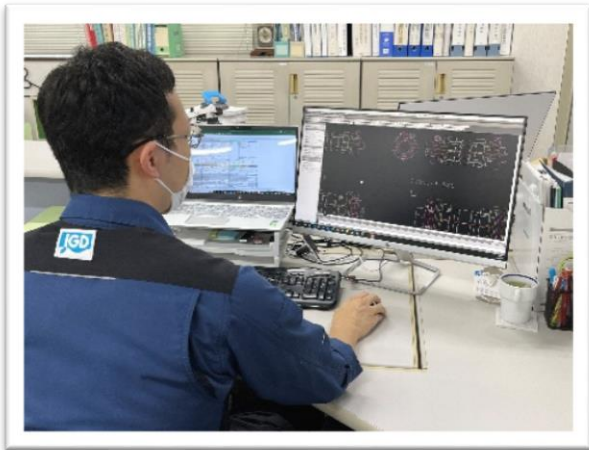
もともと大学で自然エネルギーを利用した建築設備の研究をしていたということがありまして、自然エネルギーを利用した融雪施設や空調施設を作っているこの会社は、自分が専攻していた分野ともそれほど遠くないのかなと思いました。また、地元が山形で、融雪施設の導入された道路にもともと馴染みがあったというのもありますね。

この会社は分野としては建設業なのですが、自然エネルギーを利用した融雪施設や空調施設といったものを取り扱う会社がほとんどないので、かなりユニークな会社だなと思ひまして……そんな感じでまず興味を持ったという感じでした。

——自然エネルギーに興味を持ったきっかけは何ですか。

大学で建築を専攻してまして、そのなかで入った研究室で、自然エネルギー系、環境工学系というのが研究テーマとしてあったので、それに乗ったという感じです。この仕事に直接つながっているわけではないのですが、大きな分野で見れば近いところがあったので。

——入社して良かったことや大変だったことはどんなことですか。



ずっと山形で生活してきた中で、融雪施設が導入された道の通行の快適さも実感していました。それを実際に作る業務に携われたことが入社して良かったことの一つです。

大変だったことは、けっこう覚えることがたくさんあって、次に何をやればいいのかわかるようになるまでけっこう時間がかかってしまったことです。何の仕事でもそうだと思うのですが、一から覚えなければいけないこ

とがたくさんあったので、それを身につけるまでけっこう苦労しました(笑)。

——新入社員への研修はどのようなものなのでしょうか。

3か月間試用期間というのがあります。最初は電話の取り方や挨拶、加えて外部で開催されるビジネスマナー研修会にも参加します。その後に実際の業務に関することを具体的に学んでいくという流れです。

私のいる設計部ですと、いきなり業務を任せるとはなくて、その前に過去の業務を教材としてやり方を教えていきます。あらかじめ過去の業務を使って教えることで、実際に業務を任せられるようになっても動けるようにはなるかなという意図です。その後は、メインで仕事を担当する前に、先輩のサポートなどのできるところから徐々に取り組んでいく感じです。

基本的に新入社員に一人につき指導係が一人ついて指導する形になります。ただ、指導係一人では対応できないこともありますので、部所全体で「誰にでも聞いていいですよ」という感じで新入社員には伝えています。

——社内はどのような雰囲気ですか。

そうですね(笑)、真面目な人が多いです。ただ話しやすい雰囲気もありますので、聞きたいことがあればすぐ聞けるというような雰囲気で仕事はさせてもらっています。

慣れない業務や、業務を複数持っている時とか、自分一人では立ちいかなくなる状況になることもあるので、そういう時に作業を手伝ってもらえるのはありがたいと思います。

——他の部所とも交流があるのでしょうか。

(菅野さん)

話す場所がそれほど多くはないので、それほど頻繁ではないですが、たまに会ったときには話しますね。コロナ禍前には研修旅行があって社員同士の交流の場になっていたのですが、ご時世柄それは無くなってしまって……新入社員の歓迎会や忘年会も様子を見ながらという感じなので、それに代わる何かというのは……どうなのでしょう？

(鈴木さん)

毎年計画はするのですが、新型コロナウイルスの感染が広がって中止になって、というのが三年間続いていますからね……。

研修旅行は強制ではないのですが、ほぼ全員参加していましたね。営業所の方も含めて、7~8班ほど作って行っていますね。行先は様々です。

2019年はトルコのカップパドキアに訪れました。



——さまざまな部所があると聞きましたが、異動もあるのでしょうか。

(菅野さん)

異動はありますね。頻度はどのくらいかな……

(鈴木さん)

若いうちは経験をたくさん積んでもらいたいという思いもあるので、複数の部所を異動することが多いです。現場になると、必要な専門的知識があるのであんまり動くということはないです。ただ、当社は、雪が多いところ、いわゆる積雪寒冷地域、日本海側の東北側から西日本にかけて各地に営業所があり、そこに異動することはあります。

その一方で、同じ仕事をしていても、部所は変わらず地域が変わることがあります。例えば、秋田の営業所で働いていた人が隣の岩手県にヘルプで異動していく、ということはけっこうあります。今年はこの地域が忙しいからこっちを手伝ってほしい、というイメージです。

——就活をしている方へ伝えたい御社の魅力はなんですか。

もともとこの会社は、農業用水の井戸を掘るところから始まりました。そこから地下水を利用した融雪施設を始めようになって、さらに最近では地下水熱、地中熱を利用した冷暖房、空調施設を作っています。常に自然エネルギーを使った新しいチャレンジを継続的にしている企業ですので、これから環境とか、省エネがより重要になってくる時代にマッチしているというのが魅力だと思います。

——大学時代にやっておけばよかったと思うこと、やっておいてよかったと思うことはありますか。

やっておけばよかったと思うのは……インターンシップですかね。私自身就職活動をそんなに熱心にしてこなかったのが、インターンシップとかで企業の内部に入って体験ができるのであれば体験してみたほうが良かったかなとは思っています。やっておいてよかったと思うことは、実際に興味のある会社に出向いて、訪問して、話を聞くということです。これができるのは学生ならではだと思えますね。

あと勉強や仕事以外の趣味、バイト、サークルなど、バランス良く時間を使うことが大事かなと思っておりまして、そこで得た経験が後々の人生で役に立つ瞬間とかがありますので、あんまり勉強とか就活とかに偏りすぎるのも良くないのかなと思います。

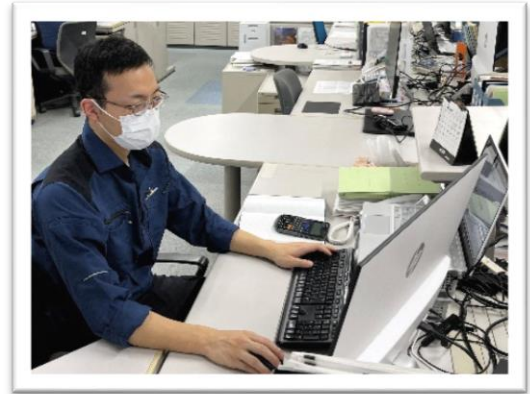
学生なので勉強が本分だとは思いますが、やっぱり学生時代は自由な時間が多くて自由に動けるので、できるだけ思い出があったほうがいいかなと思ってまして。なのでやっぱり、勉強しかしてこなかったとか、どれも中途半端だったと思うくらいなら、思いっきり自分がやりたいことにチャレンジするとか、時間をたくさん使って何かしてみるとか、友達との思い出を作るとかしたほうが、その後の人生に生きてくるんじゃないかなと思います。

(3) ある日の過ごし方編

● 8:30 【業務開始】

メールや連絡等の確認を済ませたら事務所内で作業をします。

作業は主に図面や報告書の作成、お客様からの問い合わせ対応です。



● 12:00 【お昼休憩】

昼食は弁当をデスクで食べることがほとんどですが、家で食べたりお店で食べたりもします。

会社の同僚や先輩とよく行くお店は「ろかーれ」です。当社にはこのお店の根強いファンが多いです。



● 13:00 【午後の業務開始】

午前に引き続き作業を続けます。

● 18:00 【退勤】

業務の状況に応じて残業をします。

退勤後は家でゆっくりしますが、余力があれば軽く運動をすることもあります。

(4) むらやまでの暮らし編

——村山地域での就職を決めた理由は何でしょうか。

そうですね……一番大きいのは、やっぱり地元ですと住んでいたということです。まあ東京で就職するっていうのも一時期考えていた時があったんですけど、いろいろあってやっぱり地元で、そのまま生活できるのであればそのほうがいいのかと思って(笑)。それで地元で就職したという感じでした。地元だと慣れているということもありますし、親しい人が身近にいるのも良いところです。

——仕事が終わって帰宅した後やお休みの日などは、どんな風に過ごしていますか。

休日は、私はインドア派なので家でんびり過ごしているんですけど、たまに友達とごはんに行ったりとか、コロナ前であれば県外の方に旅行に行ったりしていました。例えば長野県の善光寺です。最近は近場で過ごしています。

最近リニューアルした県立図書館がおすすめの場所です。カフェができて、飲み物もOKになって、より快適に落ち着いて時間を過ごせる空間になったなと思います。



——先程、学生時代は登山をしていたと伺いましたが、今でも登山に行くのでしょうか。



入社してからはなかなか、タイミングが合わなくて(笑)。なかなか気力と時間のバランスがうまく取れなくて行けてないんです(笑)。でもしっかりとした登山ではなくても、軽い登山はしています。この近くだと、富神山です。会社から遠くない場所にあり、30分程度で登れるので気分転換にちょうどいいです。

大学時代には夏休みに部活のメインイベントである合宿がありました。南アルプス、北アルプス、大雪山（北海道）をローテーションで登っていました。合宿に向けて、夏前には面白山など近くの山でトレーニングもしていました。

——山形の魅力はどんなところだと思いますか。特にここが好き、というところなど。

人が混みあっていなくて、暮らしやすいというところですか。あとは食べ物もおいしいですし、水や空気もきれいなので、落ち着いて暮らせるかなあとは思います。

特に良いところは……、季節ごとにいろいろ、さくらんぼやラ・フランスとか梨、スイカといった果物が豊富なお店があります。知り合いの方からいただけることもあるので、そういうところはいいですね(笑)。

——その一方で、山形は夏に暑かったり、冬に雪が多かったりと、不便なところもあると思います。そういった不便さとの付き合い方はありますか。

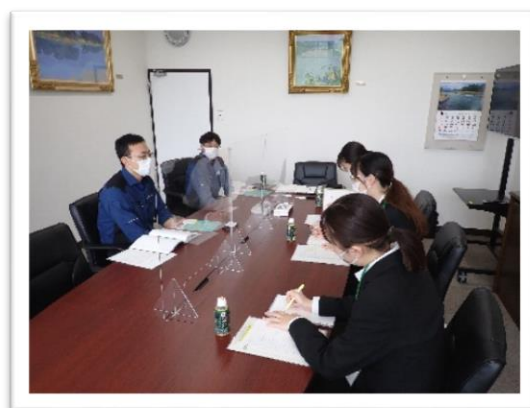
そうですね……夏暑いのはもうどうしようもないですけど、雪に関していえば、山形市内は雪は降りますけどそこまで豪雪というわけでもないかと。道が混むこともありますけど、雪が積もって家から出られないとかにはならないので、まだ許容できるくらいの不便さなのかなと受け入れてはいます。

あと山形に住んでいれば、仙台とか首都圏にも日帰りで行けるので山形で仕事ができるなら強いこだわりがない限り都会に出なくてもいいんじゃないかなと思います。

(5) まとめ編

——仕事をしていく中で、今後の目標はありますか。「20年後の姿」のような。

まだ私も経験が浅いということもありまして、設計業務自体も上司や先輩にいろいろ教えていただきながらやっているところです。これから経験を積んでいく中で、まず自分で一通りこなせるようになったうえで、さらに仕事の精度を高めていけるようにできたらなと考えています。



20年後は……その時社会がどうなっているのかはちょっとわからないですが、私個人としては今の経験がその時代でも役に立っていればいいなという風には思います。少なくとも今の仕事で役に立てるのであれば、この仕事を続けていきたいとは思っています。

———**今の経験を大切にしていくなために、現在意識していることはありますか。**

意識していることは……まだ経験が浅いこともあって、これまでは振り返りがあまりできなかったんです。特に仕事をし始めたときは。ですけど、それより経験をいくらか積んだ今になってみると、振り返りができるようになったというか、もっとこうすればよかったということが少しずつ見えてくるようになったと実感しています。なので、少しでもその振り返りをして改善点を見つけて、今後の自分の仕事でもそうですし、自分よりも後に入ってくる人たちの役に立てるようなやり方というのを残すことができたらいいなと思っています。

———**これから就活する学生へ向けて、アドバイスをお願いします。**

就職活動をやるタイミングで、自分のやりたいことや向いていることがわからないという人はたくさんいると思います。まずは実際に会社訪問に行けるのであれば行ったほうがいいですし、できるだけ情報を集めた方がいいかなと。そうすれば自分が知らなかったことや今まで気に留めていなかったことにも目が向いて、就職活動の幅を広げてくれるんじゃないかなと思います。

———**最後に、総務部の鈴木さんにもお伺いします。働きやすい職場づくりについて教えてください。**

有給休暇は、適宜自分が取得したいと思ったタイミングで申請すれば拒否されることはまずありません。有給の取得といった意味では特に問題なく取得できる状況です。

育休やその後の復帰プログラムも規定としては設けていますが、現時点ではまだ該当者がいないという状況です。福利厚生としては、コロナ禍でできていませんが、先ほど話題に出てきた研修旅行があります。

———ありがとうございました！

インタビューをさせていただいた菅野さんは、私たちの質問に対して真摯に真面目に答えてくださった姿が印象的でした。業務内容が専門的で難しそうだと思ったのですが、社内での教育もしっかりしていて部所のサポートがしっかりあるというところが良いと感じました。また雪が多く降る山形に住んでこの仕事をしていたらやりがいを感じそうだなとも感じました。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 藤井遥香、高嶋乙羽、佐藤葉瑠紀】

日本地下水開発株式会社

★再生可能な熱エネルギーである地下水の開発と有効利用

日本地下水開発は、再生可能な熱エネルギーである地下水を利活用し、道路融雪・消雪を中心とした克雪事業、温泉源開発を中心とした資源開発事業、地下水熱・地中熱を利用した冷暖房システムの開発を行う環境エネルギー事業の他、様々な事業活動を通じて、地域社会の発展に貢献しています。

★令和2年度新エネ大賞経済産業大臣賞、令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰など受賞

- ・所在地 山形県山形市松原777
- ・設立 昭和37年3月
- ・従業員数 141名（男性124名、女性17名）
- ・事業内容
 - ・克雪事業
 - ・資源開発事業
 - ・環境エネルギー事業
- ・地盤コンサルタント事業 ・防災関連事業
- ・URL <https://www.jgd.jp/>

